ピースクラブ通信

No.83

発行所　社会福祉法人　ピースクラブ
連絡先　〒556-0014　大阪市浪速区大国一丁目十一番一号
TEL　06-6647-2077
FAX　06-6647-2087
HE・メール　peaceclub@m01.p-c.ne.jp
P　http://w01.p-c.ne.jp/peaceclub/

岸本君と行く宮古・石垣の旅

大西洋子

年末、宮古に移り住んだ晋作さんが誤嚥性肺炎で2週間入院したと聞き、朝子さんが逆流性食道炎で入院したと聞いて、石垣では田島さんが大阪へはとてもいけないと言っていると聞いた。

今のうち会っとかなくては、というわけで2月1日バタバタと宮古に出かけてきました。

その時ANAがキャンペーンをしていて、なんと片道一万ちょっと。即決。

ところが宮古～石垣が一万4千円。まぁ、しょうがないか。

宮古島では朝子さんが重度の障碍児たちと指談の牧野さんを待っていてくれて大歓迎。

一日目は晋作さんもいっしょに「ニライカナイ」にて沖縄料理と島唄を楽しんだ。

岸本ちゃんも三板（カスタネットのような沖縄の楽器）で少し参加した。

三板を右手に挟んだり左手に挟んだり、昔の勘を取り戻すかのしぐさに感動した。

もっともっと刺激が必要なんだと痛感した。

次の日、いざ石垣へ。昼到着。お姉さん二人、上の姉さんの旦那さんも、2台の車で迎えに来てくれた。

前の日に連絡しただけなのにうれしいなぁ。

いざ川平の「峠茶屋」へ。そこはお兄さんが食堂と民宿をしていたところで岸本ちゃんも手伝ってたのかな。

今は亡くなったお兄さんの跡を継いで息子さん、お嫁さん、お母さん（お兄さんの連れ合い）で和気あいあいと営んでおられた。おそばは絶品、だしが抜群。岸本の味付けと一緒や。倒れる前はよく作ってくれたし、あちこち売りに行ったなぁ。

そこに従姉妹さんがあらわれ、次々いっぱい「タカちゃん！」と感激の対面。

故郷で愛されている岸本ちゃん。お母さんお父さんお兄さんの仏壇の前では岸本ちゃん涙。お嫁さんもお姉さんも私たち（朝子さん・ゆう君・大西）も涙。

心が暖まる時間でした。

そして田島さん。岸本ちゃんも田島さんには声が出る。田島さんも淡々と嬉しさが伝わってくるような対面。すごいなぁ、友情だね。

ケア住宅の部屋も快適そうで、あぁよかった。

田島さんが重くなって、ベッドに上げる鎖、風呂場にも鎖の簡易リフトがぶら下がっている。

田島さんは近くのコンビニまでヘルパーと出かけて、そこでコーヒーを飲むのが楽しみと話してくれた。

どんな時も人生を楽しむのがいいなぁ。

ちなみに岸本ちゃんと会って元気が出て、大阪にも行こう！と次の日電話がかかってきた。

すごい。時々電話したりしないと。

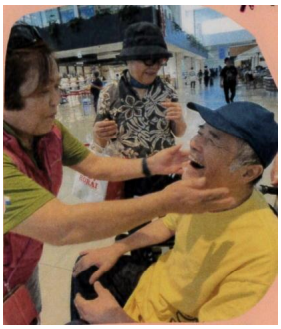
田島さんの友達の嵩元さんが、染色の仕事をやめて持っていた草木染の糸をさをりをしている岸本に織ってくれるようにといっぱい持たせてくれた。

朝子さんは早速注文。岸本忙しいぜ。

今回の旅はゆう君がずっと岸本と一緒にいてくれて、なるべく歩かせてくれてその様子を皆に感心されていたけど、ゆう君は岸本の一番弟子やもんね。

岸本はずーっと介護というか、寄り添う生き方の根本を私たちに教えてくれて私は必ず復活すると思っている。

今回の旅でそれを確信した。



コミュニケーションについて

鍼灸 大仙堂
山本克仁

こんにちは。ピースクラブへ毎週往診に来させて頂いている山本です。

皆さんからは「鍼の先生」と言われていますが、多分私が一番の若輩者でしょう。

そんな私が今回は橋本さんから「コミュニケーションについて一言書いて下さい」と依頼を受けました。

なんで？とも思いましたが、橋本さんからは

「先生は誰とでもコミュニケーションを取るのが上手いから」とのこと。

自分ではあまり意識したことがなかったことでしたので、少し恥ずかしい気もするのですが…

東洋医学の診察方法は特殊です。西洋医学の血液検査やレントゲンなど数字や画像で現れる情報とは違い、舌の色・脈の変化・ツボの状態など、私自身の五感を介して「患者さんの気の動き」を読み取ります。

実は、その際に邪魔になるのが「私の感情」です。なるべく、「患者さんの気の動き」をそのままの純度で読み取りたいのに、そこに私の感情・個人的な善悪が混ざってしまうと、患者さんの純粋な情報ではなくなってしまうからです。

具体的には…患者さんがどんな事を言っても、どんな事をしても、感情的にはならない＝私個人の善悪で判断しない、という事です。

難しいのですが、五感と感情とを繋げないよう心掛けているのです。

言い換えると「どんなボールでもストライクにするキャッチャー」

「どんな人でも気持ちよく包み込むソファー」

「どんなボケでも全てを笑いに変えるツッコミ」を目指しています。

そういう意味でも、人としての本質が覆い隠されることなく剥き出しになっている人たちが集う場所＝ピースクラブは、私にとって大切な場所になっているのです。

また、そのような私の姿勢が橋本さんからは「コミュニケーションが上手い」という風に見えているのかも知れませんね。

とはいえ、意外かと思われるかも知れませんが、世間話も結構好きです。

大谷翔平選手の結婚話を聞いて、お嫁さんの気持ちになってみたり…週刊誌側の気持ちになってみたり…目的がなくダラダラ続く会話も好きですので、またお時間の許す限りお話ししましょうねー。

思い出ごはん

おばあちゃんと草餅
阪本照代

私の思い出ごはんは、小さい頃おばあちゃんと作った草餅です。

近所の公園におばあちゃんと遊びに行き、犬ちゃんのおしっこがかかってない高い所のよもぎを、一緒に摘んで帰りました。

さて、これからよもぎ餅作りです。

幼い私に包丁はまだ使えません。おばあちゃんはよもぎを湯がいて細かく切ってくれました。そのよもぎを私が、お寺にあるような巨大なすり鉢とちょっと可愛い棒ずりを使って、よくすり込みゆでた団子っ粉も投入しました。

よく混ぜこねて馴染むよう棒ずりでひとつになるように叩きました。

おばあちゃんは「こうするんやで」と優しく、見本を見せながら教えてくれました。

やっと出来上がったタネを小さい団子にしてきな粉をまぶし、家族や近所の人たちと食べたり配ったりしました。

私の初めて作った料理だったような気がします。

今草餅は作ってないですが、おばあちゃんには昔からのいろんなことを教えてもらいました。

今はそんな手間がかかることは誰もしなくなりました。

しかし昔の人は手間がかかってもいろんな物を作る智恵があったように思います。

おばあちゃんありがとう。感謝です。

「ピースぬ宝☆サトシ師匠」サード　～十八番芸～

一番弟子キモヤンヌ

皆様おはこんばんちわ！キモヤンヌです。

よくある芸人には、よくある感じの「芸風」というものがありますよね。

「ボヤキ芸」「お坊ちゃま芸」「腹芸」「薄毛芸」「ダブルボケ」「ダブルツッコミ」

…上げれば切りがありません。我らがサトシ師匠の、人生をかけて生み出した！唯一無二の！

世界を圧巻した！あの芸！そう、それは…「怒られ芸」！ですよねぇ～!?

まあ本当にお見事ちゅうか、衝撃的ですよね？

私もはじめてこの芸を見た時はド肝抜かれました。

突然！何の脈絡もなく、「カメちゃんコワイっ！」と大声で叫んでは、

カメちゃんに本気で怒られて、そしてまた、突然！何の脈絡もなく、猿橋さんに後ろから襲いかかって、羽交い締めされてました。

（さすがに後ろから人に襲いかかるのはアカンと思いますよ。師匠。頼みます。）

誰かと誰かが、口喧嘩をしていたら、どっちの味方をしてるのか？

喧嘩を仲裁してるのか？火に油を注いでいるのか？よう…わからん？

チャチャを入れては、どちらからも怒られ、「コーヒーないっ！」と叫べば、

「飲み過ぎじゃっ！」と怒られ、「散歩行きたいっ！」と叫べば「何処へでも行って帰って来るなっ！」と怒られ・・・どこまで身体張ってるんですか？

サトシ師匠！頭が下がります。

にしても、サトシ師匠、そのダイナミックな芸でボケられて、ツッコまなあかん、ピースの面々も大変なんですよ！

特にどないもこないも、怒られるネタがない時、秘技「寝ころび芸」発動、ホンマ勘弁してほしいっス！

屈強な男性スタッフの皆さんでも大変なのに、

わてら、しおらしくて、か弱くて、繊細な女性スタッフたちやのに。

芦屋のお嬢様育ちの私に取っては、ホォ<ホォホォホォ～！

（キモヤンヌ様、お気持ちはわかります。お気持ちは…by与太）

さて、話しを戻しまして、寝ころび芸発動は、拷問以外の何モノでもないっスよ！

しかし、私も、弟子入りしたからには避けては通れぬ道と腹を決め、師匠の胸を借りて、

ある日の公園で思う存分ツッコミ倒し、人だかりが出来ようが、警察を呼ばれそうになろうが、芸のためなら女も捨てる覚悟で、挑んだあの時以来、（キモヤンヌ様！いったい？なに？やったんや!? by与太）

どこでサトシ師匠が「お寝ころび」になられても、ひと言ふた言、「ボコボコにするぞ」的な軽いギャグだけで、スタッと立ち上がっていただけるようになりました。

どんどん私、オッサン化している気がしなくもないですが、嬉しいっス！着実に大人の階段登らせていただかせてもらってます。

いつもありがとうございます。サトシ師匠！わては何処までもついて行きまっせ～～！

（続く）監修パパラッチ与太

ピースの隙間 ～the 3階～

エピソードー　入院明けの瓶田さんが昭和の遺産、イヤホンジャックが欲しいなどとジョーシンに、嫌がらせに近い電話を掛けるのでございます。

与太はここ35年イヤホンジャックなる単語は、聞いたことがなかったのでありました。

与太の記憶が定かならイヤホンジャックは昭和のステレオアンプ、

デカいジャックに指しラジカセやウォークマンで使う、ヘッドホンにつなげて音楽を楽しむと言う品物。逆パターンもあったかな？

今や音楽までスマホの時代！西表山猫並みの絶滅危惧種であろうかと

与太は思うのでございます。

瓶田さんの物欲は全快！体調も全快！猿橋氏の引きつり笑いは…続くのでありました。

エピソード2　岸本さんが里帰りから帰って来た頃のお話。

与太「おはようございます！」

うなずく岸本さん、与太「石垣島行ってきたん？」

笑顔でうがなずく岸本さん、

与太「姪っ子にも会えたん？」

思いっきり笑顔でうなずく岸本さん、与太「川平湾も行ってきたんや？」

もう…泣いてるのか？笑ってるのか？分からん顔でうなずく岸本さん、

ここで与太は思いっきりタメ口「世界一綺麗な川平湾からあんた何で大阪出てきたん！」くしゃくしゃの笑顔で何度も何度もうなずく岸本さんなの

でございます。
瓶田さんは窓際で絶妙にズレた鶴田浩二？を披露すると、弘子さんは厨房で洗い物している藤岡さんの監督を務め、聡先輩は布団にくるまり、文子さんは伸ちゃんや瓶田さんにツッコミまくり、ゆりえお嬢はお父さんと興奮気味に語らい、伸ちゃんはフゥ～ン！フゥ～ン！
出た、新技寝転びを披露、毅様は執事のノバを捕まえ3時のコーヒーブレイクを楽しむ、それぞれの時間を我のまま謳歌するピースの面々でありました。

来たぞ来たぞ 低気圧ちゃん

姫野隼人

春の訪れの気配が高まってきて、そろそろ桜の開花予報なんかもちらほら入ってくるようになりました。
暖かくなって活動的になれる季節ですが、与太さんは浮かない顔。
二人とも春先の低気圧に弱いのです。特に与太さんは桜のころになると首がしんどくって片手首男状態になってしまいます。
あんまり低気圧に悩まされるものだから「低気圧とそれに伴う不調」をマスコット化して遊んでいます。
その名も「低気圧ちゃん」（まんまやんか）じとっとした空気をまとい梅雨前線をもって気圧に弱い人にのしかかります。（ほとんど妖怪やな）
最近ではこの低気圧不調、『天気痛』などとメディアでもとりあげられ、気のせいではないことが証明されました。
頭痛や筋肉のこわばり、関節痛などが、平時に比べて出やすい人もいるようです。
雨の前にしんどくなる方は低気圧ちゃんが小憎らしい顔で懐いてきてるのかもしれません。（ジトォ・・・

「低気圧ちゃん」とは与太氏の考えた低気圧と
それに伴う不調のマスコットキャラクターです。

ピースの隙間 ～弘子さんのごちそう様編～

弘子さんはいつも昼食を済ませトレーを厨房に返し、スタスタスタッとお絵かきセットを取りに行こうとするから、阪本さんに「弘子ー！ごちそう様はっ！」と叱られるのでございます。弘子さんは無表情のまま「え！あ…なに、え！あ…そうか…ごちそう様」でありました。
その日の昼食厨房担当は、姫野氏でございます。今日もトレーを返しました弘子さんですが…なぜか？厨房からゴゴォォーー！と言うヒグマにも似たプレッシャーを感じたのでありました。そのヌシは姫野氏でございます。いつも通りニコニコ顔の姫野氏ですが、目の奥が…笑って…ない。なんと姫野氏が弘子さんとにらめっこ！イヤイヤ、そんな生半可なモンではございません。メンチ、キメッキメッバキバキのガン見でありました。
この無言威圧を前に…「どうするう？弘子ォォー！」なのでございます。
しばし見つめ合った後、一瞬の沈黙…そして真顔で「…ごちそう様」でありました。
弘子さんにごちそう様を言わせるとは…姫野氏のガン見！さすが熊殺のプレッシャーなのでございます。
弘子さん！ごちそう様なのでありました。

パパラッチ与太

◇◇ 編集後記 ◇◇

前号のピース通信、面白かった！とのお言葉をちらほらと頂く。
やはり発刊ペースを焦ってはいかんかったのや、と急遽会議をして、ピース通信のボリュームを今まで通りに戻すことにいたしました。
そのぶん今回から発行ペースは年4回の季刊ということとなります。
通信の製作は未だにもって実験と試行錯誤の繰り返しです。
すこしでもピースクラブの日常を包んでいる空気をかもしだせて、ちょっとくすっとしたり、時にジーンとしたり、考えさせられたりするような、読んでいて面白い内容になるよう、編集部も春の低気圧でシナシナに萎びながら、頑張っていく所存でございます。